

# あたごはま

## 参観・懇談へのご参加ありがとうございました

4月21日(金)、学習参観・懇談会、教育方針説明会にご参加いただき有り難うございました。テレビ放送による教育説明でもお話ししましたが、私は、学校としての使命や役割、そして重点を明確にし、学校運営を行うことが大切であると考えています。また、効果的な学校運営のためには教職員の協力が不可欠です。

私は、4月3日の職員会議の冒頭で、教職員に、①スタッフ、②教育課程、③教育指導、④連携強化の4つを大切にしながら努力を重ねていくことが重要であると語り協力を求めました。

本校は、「国際化が進む知識基盤社会を視野に、学習指導要領の趣旨を生かした教育内容を準備するとともに、福岡市立学校として、新しいふくおかの教育計画をふまえた特色ある教育を計画・実践することを通して、知・徳・体のバランスのとれた子どもを育成すること」と使命とし、現代社会のニーズに合った教育を提供しようと考えています。懇談会の時に配布しましたプリントがお手元にありましたら、学校だよりと合わせてもう一度お読みいただきたく存じます。

本年度、重点的に取り組むことは次の3点です。

1つめは、「あいさが響き合う学校を実現する」ことです。「ありがとう」をはじめとする丁寧で温かい言葉が響き合う環境には、自然と相手を尊重しようとする気持ちが培われます。「朝の挨拶運動」などを通して、気持ちのよい言葉があふれる学校をつくりまします。

2つめは、「共に支え合う子どもを育成する」ことです。私たち大人は、そのために何をすれば良いのでしょうか。私は、我が子をはじめとする子どもたちに、無償の愛情を注ぐことが大切であると考えています。愛情深く育てられた子どもは心が安定します。また、人にやさしく接するなど、自分と共に他者を大切にしようとするはずです。私たち自身が子どもを支え育てようとする意思をもつとともに、それにふさわしい言動で子どもと接することを通して、他者を尊重する子どもを育成したいと思ひます。

3つめの重点は、私たち自身が、「授業を通して子どもの支えとなること」です。本校は、福岡市英語教育のモデル校です。したがって、英語活動の充実にも励むことはもちろんですが、各教科や道徳の学習についても、不断に専門職としての力量を高める努力を重ねることを通して、学習面で子どもを支え続けていきたいと考えます。

本校教職員一同、具体的な子どもの姿を思い浮かべながら、日々の教育実践に励む所存です。どうぞよろしくお願ひ致します。

## 歓迎集会・遠足を実施しました

4月25日(火)無事に歓迎遠足を実施することができました。遠足に先立つ「歓迎集会」では、6年生の誘導で1年生が入場。1年生のあいさつに続いて、愛宕浜小学校を題材にしたクイズ大会と心温まる集会を実施することができました。

その後の歓迎遠足では、1年生も6年生と共に小戸公園まで、1キロ程の道のりを歩いて往復。どの学年も、新しく出会った友だちとの楽しく有意義な時間を過ごすことができたと思います。

1年生のお世話をしてくれた6年生の皆さん、ありがとうございました。



1年生のお世話に励む6年生児童

## 子どもの事故防止に向けて

4月22日(土)、福岡市の小学生が川遊び中におぼれかけ、救急搬送されました。本校区は海に面しています。学校でも指導していますが、子どもだけで水辺に近づかないよう、ご家庭でもご指導ください。

また、自転車による事故も増加傾向です。平成25年4月に制定された「福岡市自転車の安全利用に関する条例」では、子どもに、乗車用ヘルメットや降雨時にレインコートを着用させる努力義務が保護者に課せられています(同条例第7条)。この点につきましてもご留意願ひします。

信号無視、2人乗りや片手運転、一方通行の逆走や夜間の無灯火運転等、自転車利用者のルール違反が目立ちます。子どもは大人の行動を注視しています。私たち自身が子どものよい手本になるようにしていきたいものです。

## お願い

愛宕浜小学校安心安全メールへの登録はお済みでしょうか。学校からの情報、例えば、運動会について「実施するか・延期か」等についての情報は、皆様にメールでお知らせします。登録されていない方には、情報をお届けすることができません。今すぐ、登録してくださいさいますようお願い致します。

### 5月の主な行事(確定)

1月	TV朝会 代表委員会	19日	金	尿検査(二次)
3日	憲法記念日			内科検診(2・5年)
4日	みどりの日			PTA運営委員会 17:30~
5日	子どもの日			PTA懇親会 19:00~
8日	教育実習開始 6/2まで	22日	月	運動会児童打ち合わせ
9日	お話し会(5年) PTA総会	23日	水	運動会全体練習②
10日	内科検診 3・6年	26日	金	運動会準備
11日	尿検査(一次)	28日	日	第22回運動会
12日	火災想定避難訓練	29日	月	代休
	尿検査(予備)	30日	火	眼科健診 1・4年 しおかぜ
15日	運動会練習開始	31日	水	運動会予備日
	内科検診 1・4年 しおかぜ			
17日	運動会全体練習①			
18日	お話し会(1~4年)			



### 6月の主な行事(変更あり)

1日	木	TV朝会 プール清掃	13日	火	心電図(1年)
		眼科健診 2・5年	14日	水	代表委員会
2日	金	プール清掃予備			眼科健診 3・6年
		耳鼻科検診(全)	15日	木	クラブ活動
5日	月	家庭訪問①			学習定着度調査(4年)
6日	火	交通安全教室	16日	金	小・中連絡会
		家庭訪問②			4年環境教育
7日	水	家庭訪問(調整日)	18日	日	朝市見学(2年)
8日	木	体力テスト(高)	19日	月	平和学習 プール開き
		歯科検診 1・4年	20日	火	学校サポーター会議
		家庭訪問③	21日	水	保幼小連絡会
9日	金	体力テスト(中)	22日	木	歯科検診 3・6年 しおかぜ
		家庭訪問④	23日	金	地震想定避難訓練
10日	土	土曜授業 体力テスト(低)	27日	火	生活習慣調査(4・5年)
12日	月	体力テスト(予備)	29日	木	歯科検診 2・5年 クラブ
		一斉下校訓練	30日	金	TV朝会

今回は、辰野千壽先生のコラムをお届けします。

辰野先生は、1944年東京文理科大学心理学科を卒業。東京教育大学教授、筑波大学副学長、上越教育大学学長を歴任され95歳でお亡くなりになる直前まで、教育界に様々なご指導をくださった方です。

著書の中には、「成績がよくなる本」(毎日新聞社)、「わが子を伸ばす50の秘訣」(講談社)、「学習意欲の高め方」や「考える力の伸ばし方」(日本図書文化協会)等、保護者向けのものも多数あります。

今回は、かつて内外教育で紹介された辰野先生にコラムを引用しながら、本校が目指す教育の方向性について私の考えを述べたいと思います。

今、広い知識の習得が求められています。

辰野先生は、冒頭で、「最近では知識よりもその活用が重視されるようになってきているが思考力や問題解決力を育成するために知識は不可欠である」と述べられ、「問題を理解する過程では事実に概念的知識が、解決の計画を立てる過程では方略的知識が、実行する過程では手続き的・条件的知識が、振り返る過程ではメタ認知的知識が必要」と仰せです。

私たちは、テストで測りやすい「事実に概念的知識」には敏感で、知識の量を増やす努力を重ねてきました。一方、「答えを導き出すための方法や手続きに関する知識」や「追究の結果、答えを導き出す過程を振り返るために必要な知識」を身に付けることについては、重要であるとの認識はあったものの、あまり目を向けてこなかったのではないかと反省しています。

「事実に概念的知識」は、教師がわかりやすく解説しさえすれば身につくに違いありません。しかし、物事を調べたり、説明したりする場合に必要な知識、辰野先生に言葉を借りれば「方略的知識」や「手続き的・条件的知識」等を身に付けさせるためには、それなりの工夫が必要です。

昨年度の学校教育結果説明会で少し触れましたが、本校では、「体験から学びへ」をスローガンに、広い知識の習得を目標としたプロジェクト学習を本年度より3年生以上の全学年で実施することとしています。例えば5年生。総合的な学習の時間に「バケツ稲」を育てるという体験活動を核にした学習を展開しますが、「うまく育てるためにはどうしたらよいか」など、学びの過程で生まれる疑問を解決していくなかで、手続き的・条件的知識の習得を目指したいと考えています。また、6年生では、地域の方々と協働的な学びを展開。地域の防災について考える学びを通して、広い知識を身に付けさせたいと考えています。このような学習こそ、未来に生きる子どもに必要な力になると考えるからです。

オックスフォード大学で人工知能の研究を行うマイケル・A・オズボーン准教授は、「人工知能技術の発達により、今後10年から20年で約半数の仕事がロボットもしくはコンピュータの仕事となり、人間はより高次元で生産的な知的労働に従事する」という未来予測を発表しました。

未来に生きる人間に求められる知識は、事実に概念的知識ではなく、問題を解決に導く手続きや問題解決の過程を振り返るために必要な深い知識であろうと考えますがいかかでしょうか。

広い知識は思考を助ける

筑波大学名誉教授 ● 辰野千壽



近年、教育では、「確かな学力」の向上が強調され、知識の量や技能の速さ・正確さよりも知識・技能を活用する思考力や問題解決力の育成、すなわち「知識」よりもその「活用」の育成を重視している。

しかし、思考力・問題解決力を育成するためには、その基礎となる知識が必要である。問題解決過程に関わる知識としては、物事についての事実的知識、カテゴリー、原理、因果関係などについての概念的知識だけでなく、物事をいかに行うかの具体的手続きについての手続き的知識、いつ、なぜ、その概念的知識や手続きを用いるかについて

ての条件的知識、文章の要約、記憶、思考などの仕方のような一般的な学習方法についての方略的知識、自分の認知過程とその制御についてのメタ認知的知識などが挙げられている。

そして、問題解決過程の①問題を理解する過程では事実に概念的知識、②解決の計画を立てる過程では方略的知識、③計画を実行する過程では手続き的・条件的知識、④振り返る過程ではメタ認知的知識が特に関係するといわれている。

識、概念的知識だけでなく、前述の手続き的知識からメタ認知的知識に及ぶ広い範囲の知識を習得させる必要がある。さらに、これらの知識については、同じ知識でも浅い知識と深い知識が考えられる。浅い知識は、反復的な復唱や暗記学習によって習得された、表面的に理解された知識であり、学習した文脈と異なる文脈では応用できない。これに対して、深い知識は、意味学習により意味や根拠をよく理解している知識であり、学習した文脈と異なる文脈においても応用できる。従って、思考や問題解決に役立つ知識となるためには、その意味をよく理解して習得することが必要である。



伝言板

家庭訪問を玄関先訪問に変更します。

本校は、これまで、皆様のお宅におじゃまして、懇談させていただいておりましたが、本年度より、家庭訪問は玄関先訪問にとどめさせていただくことにしました。担任が皆様のお宅の場所を確認すると共に、玄関先でのご挨拶に加え、お子様に関する情報交換をさせていただきたいと思っております。

例年に比べ、時間も短くしております。お子様のことで担任が知っておいた方がよいこと簡潔にお話ししていただくと助かります。この訪問だけでは十分ではないとお考えの方は、ご遠慮なく担任にお知らせ下さい。必要に応じて担任が家庭訪問したり、授業参観の折にお話しさせていただきます。

なお、これまでと同様、湯茶等の接待はご遠慮いたします。学校と家庭、担任と保護者は、子どもをよりよい方向に導くパートナーです。この機会に相互の信頼関係を深めていきたいと考えています。ご多用中恐れ入りますが、ご対応をお願い致します。